

(受理番号)	元-6	(受理年月日) 令和元年6月7日
<p>件名</p> <p>要旨</p>	陳 情	
	<p>昨年度と同様、知事の海外友好自治体訪問に同行する公費による議会代表は議長（または代理）1名に限定することを求めることについて</p> <p>全国から批判を浴びた香川県議会の海外視察については、どのような見直しが実行されるのか、多くの県民が注目し続けている。</p> <p>しかし、議会改革検討委員会の議論が公表されないまま、県民へのパブリックコメントを求める声を見做して決定された「海外派遣取扱要領」は、きわめて不十分な内容であり、不断の見直しが求められる。</p> <p>とりわけ、県の監査委員2人が要望した視点「議員としての幅広い見識と国際的な視野を持つ・・・ことは、自己研鑽によって獲得すべきことである」「そのような調査目的が希薄な海外視察を良しとすることには問題がある」などの重要な指摘の反映は不可欠である。</p> <p>多くの県民は、厳しい財政状況の下、議員たちが多額の公費を使って海外旅行を続けることに怒っている。</p> <p>昨年度、「アルゼンチン県人移住100周年、ブラジル日本人移住110周年記念式典等」への知事参加に同行した議員が「前議長1名のみ」であったことは、そういう県民世論を正面から受け止めた対応だったと考える。</p> <p>また、昨年4月と今年2月の知事の台湾訪問について、それぞれ「議会を代表して議長のみ」が同行した事実も、同様に県民世論に合致する判断である。</p> <p>今年度は「香川県・陝西省友好提携25周年記念」の年で、知事の陝西省訪問が予定されている。県の財政状況は厳しいままであり、昨年度と同様、公費で同行する議会代表は「議長またはその代理」1名に限定することを求める。参加を希望する議員は公費でなく、自費で参加すべきである。</p>	